

学域横断的プロジェクト入門《2024》

#7 グループワーク6：プレゼンテーション1

荻谷 千尋・田中 千晶・中野 正俊

Wed, 31, Jul, 2024

I. 前回の振り返り

- 前回の「授業の感想」（別紙参照）

II. プレゼンテーション

1. 来週のプレゼンテーション

- プレゼンテーション：8～10分
- 質疑応答：5分
- プレゼンテーション資料：
 - スライドまたはレジュメ
 - 箇条書きないし図表
- 想定する聴き手：専門的知識のない、平均的な大学1年生
- ルーブリック
 - 別紙参照

Note | プレゼンテーション

- リサーチプロポーザルをベースにしながらも、聴き手にインパクトを与えるようなメリハリをつけること
- リサーチプロポーザルをただ読み上げるだけのプレゼンテーションにはしないこと。ただし、読み上げ原稿を作る必要はない
- 10分報告の字数の目安：3,000字

2. 『TED TALKS：スーパープレゼンを学ぶTED公式ガイド』

1. リーディングアサインメント

- 別紙参照

2. スルーライン

スルーラインは、話し手が築こうとするアイデアのすべての要素を強く結びつけるひもか縄のようなものだと思ってほしい。これは、一度のトークでひとつのトピックやひとつのストーリーしか語れないという意味ではないし、寄り道をせずにある方向にまっしぐらに進まなくちゃならないわけでもない。そんなことはまったくない。ただ、すべての部分がつながっていないといけないという意味だ（アンダーソン、クリス・関美和（訳）（2016）, 51ページ）

講演者の多くは自分のアイデアを溺愛しているので、そうでない人がなにを理解できないのか想像できない。大切なのは、限られた時間で、できる限り隅々まで完全にひとつのアイデアを紹介することだ。話が終わったときに、一点の曇りもなく理解してほしいのはなんだろう？（アンダーソン、クリス・関美和（訳）（2016）, 53ページ）

1. 基本

- 15ワード以内（≒30～40文字）でまとめてみる
- 学術的なプレゼンテーションの場合、リサーチクエッションが該当する

2. 聴衆について知る

- どのくらい知識があるのか；何を期待しているのか
- 次回のプレゼンテーションで想定して欲しい聴衆
- 標準的大学1年生と自分の研究分野以外のことに疎い教員

3. 絞り込む

- なぜこの話が大切なのかを説明する
- それぞれのポイントを事例や逸話や事実で肉付けする

3. TEDxで賢そうにプレゼンする秘訣 | ウィル・スティーブン



(<https://www.youtube.com/watch?v=8S0FDjFBj8o&list=LL&index=203>)

- スルーライン
 - 賢そうにプレゼンする秘訣
 - 賢そうにプレゼンすることへの揶揄
- 逸話（枝葉）
 - 数字や眼鏡（のトリック）

4. TEDと学術的なプレゼンテーション

相違点

- TED：インパクト；共感；難易度が低い（一般的）
- 学術：論理性；難易度が高い

共通点

- 明快さ
 - なぜこの話（スルーライン／主題／リサーチクエッション）が大切なのかを説明する
 - なぜこの枝葉（逸話／先行研究／事例／論拠）が大切なのかを説明する

III. 学修目標（到達目標）再掲

1. 受講生が、高校と大学の学びの**質的な連続性と相違点**を自覚することができるようになる
2. 受講生が、グループワークを通して、研究の分担や協力などの基本的な作法を身に付ける
3. 受講生が、他のグループの研究発表に興味関心をもち、主体的、積極的に、質問やコメントができるようになる
4. 受講生が、質の高い研究プロジェクトにするための条件について、自ら考えられるようになる
5. 受講生が、グループ内で共通する問題意識について議論し、それを一つに集約し、言語化できるようになる
6. 受講生が、**問題意識を、検証可能なリサーチクエッションに変換**できるようになり、また、リサーチクエッションや選択した対象に適した、先行研究や資料を探ることができるようになる
7. 受講生が、選択した対象に適した、ディシプリンや検証方法について考えることができるようになる
8. 受講生が、グループ内またはクラス内発表などを通して、自分（たち）の研究上の問題点を自覚し、それを修正する態度を身に付けられるようになる

IV. グループワーク

- 来週（完成）に向けて準備を進めること

V. 次回までの宿題

1. 授業の感想

回答先と締め切り

- 回答先：Google Forms
- 締め切り：2024年8月4日（日）23時59分

2. リサーチプロポーザル&プレゼンテーション（ほぼ）完成稿

Note | 提出先と締め切り

- 提出先：Google Forms
- 締め切り：2024年8月7日（水）10時30分
- ファイル形式:
 - プロポーザル: Word
 - プレゼンテーション資料: Word または PowerPoint
 - それ以外の形式は応相談
- ファイル名:
 - グループ番号.拡張子
 - 例：グループ番号1.docx/グループ番号1.pptx
- 授業回:
 - 「#7 7月31日（最終成果物）」を選択して下さい

Warning

再提出する場合は8月9日（金）23:59分まで（必須ではありません）。最終版のファイルで成績を評価します

引用文献

アンダーソン、クリス・関美和（訳）（2016）『TED TALKS：スーパープレゼンを学ぶTED公式ガイド』, 日経BP.